

# 「REAL VOICE」上映会

～コミュニティにできることを考えよう～



虐待は大人になって終わりじゃない



● 児童虐待を経験した  
若者たちのドキュメンタリー

©ACHAプロジェクト  
企画・監修 山本朋子

この声は他人事ではない。

児童虐待を経験した若者たちの「REAL VOICE」をキッカケに、虐待の背景にあるもの、児童・若者をはじめとした誰も孤立させないコミュニティづくりに私たち一人ひとりに何ができるのか。

児童福祉の専門家と一緒に考えてみませんか？

2024

1

2023年12月20日

申込開始  
(先着順、130名)

30 (火)

無料

13:30～16:30 (13:00開場)

TOHOシネマズ 川崎

(川崎市川崎区駅前本町8番地 DICE 7F  
JR川崎駅から徒歩約5分)



プログラム

13:30～15:10

映画上映

15:10～16:30

パネルディスカッション

申込はこちらから、もしくは  
FAX (裏面のフォーム) にて

Part1:虐待の背景にあるものとは  
～そもそも虐待はなぜ起こるのだろう～

Part2:誰1人取り残さない社会を実現するために何ができるか  
～誰もが「居心地よく」生活するためにはなにが必要だろう～





虐待された経験者の人生や日本各地の社会的養護を経験した子・保護されることはなかった子達の心の叫びを収録した、若者たちの「REAL VOICE」を発信することを目的としたドキュメンタリー映画。  
監督自身も児童養護施設出身であり、今回の上映会では山本昌子監督からのスペシャルビデオメッセージもお届けします。

## パネリスト紹介

## ファシリテーター：長谷川 俊雄 白梅学園大学名誉教授

社会福祉士、精神保健福祉士。横浜市役所社会福祉職、愛知県立大学、白梅学園大学を経て現在に至る。NPO法人つながる会代表理事（横浜）  
認定NPO法人フリースペースたまりば理事（川崎）  
共編著『引きこもりの理解と援助』（萌文社）他。

## パネリスト：

## ・鈴木 健 ふれあい館副館長

川崎市ふれあい館副館長 父は日本人、母は朝鮮半島出身。10代の頃に在日フィリピン人と出会い、それ以来、在日外国人のコミュニティづくりや支援に携わる。  
現在、川崎市ふれあい館でこども食堂や食糧支援、小学生、中学生の学習支援、高校内居場所カフェなど、こども・若者の居場所づくり事業や多文化事業に取り組む。

## ・溝部 聡子 かわさき里親支援センターさくら統括責任者

社会福祉法人厚生館福祉会が運営している養子縁組里親支援機関（フォスターリング機関）として、川崎市から2020年に受託。

## ・富居 啓之 川崎愛児園 施設長代理

15年以上、地域社会の中で、様々な理由により家族と一緒に暮らすことができない「将来を担うこどもたち」への質の高い養育及び子育て支援に奮闘。

## ・中部児童相談所 職員

## FAX申込フォーム

（送付先：川崎市市民文化局協働・連携推進課） FAX：044-200-3800

## Q1. 所属を選択してください。

施設 地域団体（町内会・地区社協・等） 行政関係者 学生 その他

## Q2. お名前をご記入ください。 【 】

## Q3. 在住または在勤の区を選択してください。

川崎区 幸区 中原区 高津区 宮前区 多摩区 麻生区 市外

## Q4. 電話・FAX番号をご記入ください。

【TEL：

/FAX：

】

## まちのひろば創出職員プロジェクトとは？

多様なつながりを育む地域の居場所「まちのひろば」創出のモデル実施を目的とした、職種・組織の枠を超えて地域に飛び出す市職員によるプロジェクト。職員研修の一環として実施しています。

主催：川崎市市民文化局協働・連携推進課  
（まちのひろば創出職員プロジェクト）  
問合せ先  
共催：社会福祉法人川崎市社会福祉協議会  
施設部会 児童・母子福祉施設協議会  
TEL 044-739-8717